

# 京都の鴨川、平安貴族が外国人客向け「NO BBQ」 ユニーク看板、設置された理由とは

2024年4月2日 6:10

鈴木雅人



鴨川と高野川の合流する鴨川デルタに設置された「バーベキュー禁止」の看板（京都市左京区）

京都を訪れる外国人観光客に向け、鴨川河川敷でのマナーや危険な行為・場所を周知する7種類の看板デザインを、京都女子大学（京都市東山区）の学生たちが作成した。日本語が読めなくても一目で伝わるよう、平安貴族をモチーフにしたビクトグラム（絵文字）と英文で表現した。看板は3月から中京区の三条大橋下など7カ所に設置されている。



京女大の学生たちが手がけた自転車の走行マナーを呼びかけるデザイン

看板デザインは京女大が学生主体の事業を支援する学内公募で採択されたプロジェクトで、今春までに卒業した9人が2020年から取り組んできた。諏訪亜紀教授が府や京都市などでつくる「鴨川府民会議」メンバーを務める縁で、河川管理者の府と連携。学生たちは河川敷を歩き、府が設置している既存の看板の見やすさを調べたり、鴨川を訪れた観光客や外国人にデザイン案をアンケートしたりして修正を重ねた。



京女大の学生たちが手がけた進入禁止を呼びかけるデザイン

作成した7種類のデザインは河川敷での打ち上げ花火やバーベキューの禁止、ミニバイクなどの進入禁止など府の「鴨川条例」で定められた規制を示したり、ごみの持ち帰りや川遊びへの注意を呼びかけたりする内容。平安貴族のユーモラスなビクトグラムを考案し、府の既存の看板にはなかった英文のメッセージを添えた。誰が見ても分かり、京都らしさも備えたものを目指したという。



京女大の学生たちが手がけた打ち上げ花火禁止などを呼びかけるデザイン

これらデザイン案を基に府京都市土木事務所が縦約60センチ、横約60センチの看板を作り、3月上旬に三条大橋下や、鴨川と高野川の合流部、七条大橋下流などに設置した。



京女大の学生たちが手がけたごみ持ち帰りを呼びかけるデザイン

市民と観光客であつれきが生じるオーバーツーリズム（観光公害）の背景には、マナーやルールが外国人に適切に伝わっていないこともあるとされる。プロジェクトリーダーを務めた22年度卒業の近藤優衣さんは「（分かりやすい看板による周知が）訪日外国人と京都の双方のためになると考えた。市内の観光地に同様の取り組みが広がってほしい」としている。